

DC電源分配ユニット

PSY-30

DC POWER DISTRIBUTION UNIT

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 電源プラグ、コードは

- ・ 定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・ 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・ 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・ 電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・ 電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・ 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・ すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 空調設備を確認してください。
- ・ しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・ 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・ 消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・ 感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・ 故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

4) その他

- ・ 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・ 質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・ 冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・ 車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・ 機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

● 定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がございましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

① 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。

なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために	I
保証規定	III
1. 概 説.....	1
2. 構 成.....	1
1. PSY-30.....	1
3. 各部の名称と働き	2
1. 筐体前面.....	2
2. 筐体背面.....	3
4. 電源ユニット 交換・増設方法.....	4
1. 電源ユニット 交換方法	4
2. 電源ユニット 増設方法	5
3. 電源ユニット 取り外し方法	6
5. RM-25A ラックマウントキット組立て方法	7
1. PSY-30 取り付け位置	7
2. RM-25A ラックマウントキット組立て完成イメージ図	8
6. トラブルシューティング.....	9
7. 仕 様.....	11
構 成	11
定 格	11
TALLY 仕様	11
外形寸法図.....	12

1. 概 説

PSY-30 は、25 シリーズ・30 シリーズなどの当社製品へ 6 分配する事ができる DC 電源分配ユニットです。

DC12V/合計 7.5A(使用可能な電流容量は 6 分配の合計が 7.5A になります。)

オプションを使用する事により、電源二重化での運用やラック実装での運用も可能です。

■特 長

- ✓ DC12V(合計 7.5A)を 6 分配する事が可能※1
- ✓ 電源二重化オプションに対応※2
- ✓ アラーム接点は電源異常、電源停止のいずれかでクローズ
- ✓ 前面パネルは開閉可能で、電源増設・交換が容易※3
- ✓ RM-25A ラックマウントキットに取り付けてラック実装での運用も可能
- ✓ 当社 25 シリーズ・30 シリーズへの接続可能なケーブルオプションあり※4

※1 使用可能な電流容量は 6 分配の合計が 7.5A になります。6 分配の合計消費電流が 7.5A 以上になると保護回路が働いて電源供給機能が停止するか異常発熱により筐体破損を起こしますので、確実な仕様範囲内でのご使用をお願いします。
PSY-30 本体へ筐体を接続する際、一瞬ですが供給電圧に電圧降下が発生します。筐体の接続時には PSY-30 本体の電源を切るか接続する筐体が電圧降下範囲内で稼働できるかの確認をお願いします。
参考値・・・消費電力 1A 電圧降下約 1V :消費電力 2A 電圧降下約 2V:消費電力 7A 電圧降下約 5V

当社製品への接続専用です。

※2 電源二重化オプション PSY-30-01 のご購入については当社営業部までお問い合わせください。

※3 運用時は前面パネルを開めてください

※4 ケーブルオプション PSY-30-02(キャンノン(f) ⇄ キャンノン(m) DC 電源ケーブル 1m) のご購入については当社営業部までお問い合わせください。

2. 構 成

・筐体は以下の構成になっています。開梱後、付属品などが不足していないかお確かめください。

万一、不足している品物がございましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

※付属品が不足している状態でのご使用は避けてください。

1. PSY-30

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	筐体	PSY-30	1	
2	PSY-30 電源二重化オプション	PSY-30-01	1(2)	標準 1 台 筐体へ実装済み
3	キャンノン(f) ⇄ キャンノン(m) DC 電源ケーブル 1m	PSY-30-02	0(6)	オプション購入時に 同梱します
4	AC ケーブル		1(2)	標準 1 本
5	取扱説明書		1	本書

3. 各部の名称と働き

1. 筐体前面

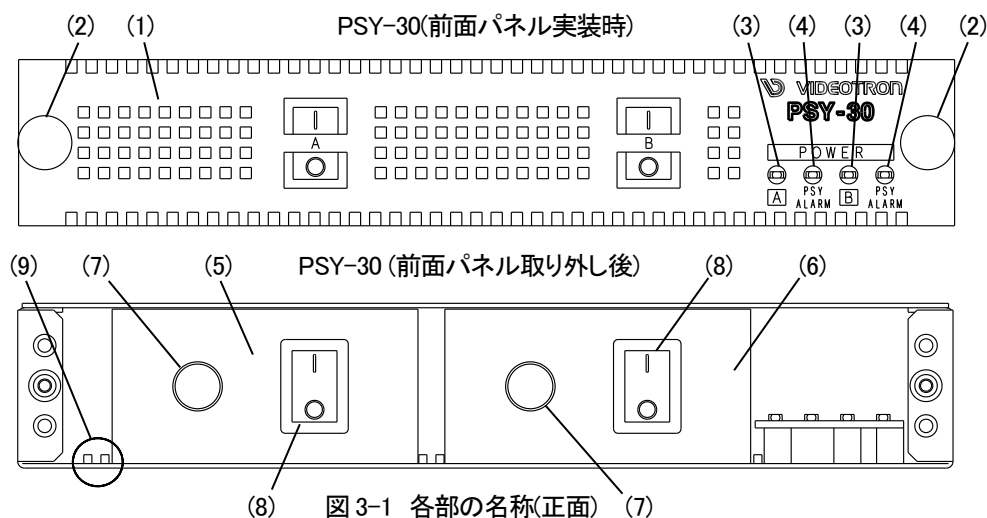


図 3-1 各部の名称(正面) (7)

(1)前面パネル

PSY-30(以下、筐体)の前面パネルです。電源増設や交換をする場合には外してください。

(2)前面パネル固定用ネジ

前面パネルを固定します。前面パネル使用の際は確実に固定の上ご使用ください。

(3)POWER LED

PSY-30 電源二重化オプション(以下、電源ユニット) A、B に対応した電源ランプです。

電源スイッチを ON にすると緑色点灯し、電源異常・電源断・電源スイッチを OFF にした時、消灯します。

(4)PSY ALARM LED

電源ユニット A、B に対応した電圧のアラームランプです。

電源異常・電源断・電源スイッチを OFF にした時、橙色点滅します。

電源ユニットの電源供給がなくなった場合アラームランプは点灯しませんが、筐体背面の TALLY から接点アラーム信号が出力されます。2 台の電源ユニットを引き抜いた場合でも接点アラーム信号は出力されます。

(5)電源ユニット A

筐体の電源ユニット A です。電源ユニットを二重化しない場合は A 側にてご使用ください

(6)電源ユニット B

筐体の電源ユニット B です。電源ユニット B は二重化運転用のオプションです

(7)電源ユニット用 取手

電源ユニットを挿抜の際に使用する取手です。

(8)電源スイッチ

電源ユニット A、B に対応した筐体の電源スイッチです。

(9)電源ユニット用ガイド

電源ユニットがこの隙間に来るように挿入します。

注意！ 電源ユニットに異常が生じた場合は、速やかに異常が生じた電源ユニットの電源スイッチを OFF にし筐体から引き抜き、弊社までご連絡ください。

2. 筐体背面

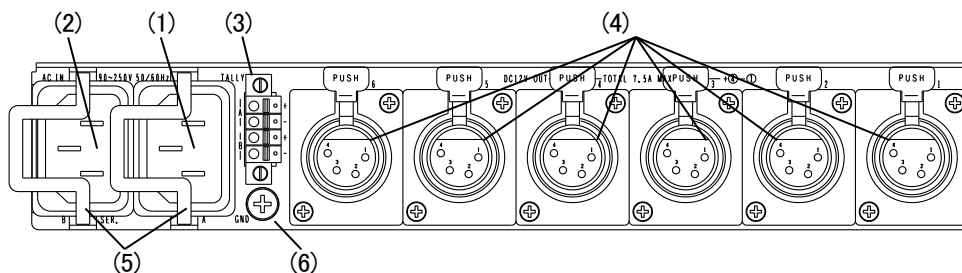


図 3-2 各部の名称(背面)

(1)三端子電源コネクタ

電源ユニット A で使用する三端子電源コネクタです。

(2)三端子電源コネクタ

電源ユニット B で使用する三端子電源コネクタです。

(3)TALLY

筐体の電源に異常が発生した時、接点アラーム信号が出力されます。

(4)外部供給用コネクタ XLR-4(f) (1:-、4:+)

電力を外部へ供給するコネクタです。

※使用可能な電流容量は 6 分配の合計が 7.5A になります。6 分配の合計消費電流が 7.5A 以上になると保護回路が働いて電源供給機能が停止するか異常発熱により筐体破損を起こしますので、確実な仕様範囲内でのご使用をお願いします。
PSY-30 本体へ筐体を接続する際、一瞬ですが供給電圧に電圧降下が発生します。筐体の接続時には PSY-30 本体の電源を切るか接続する筐体が電圧降下範囲内で稼働できるかの確認をお願いします。

参考値・・・消費電力 1A 電圧降下約 1V :消費電力 2A 電圧降下約 2V:消費電力 7A 電圧降下約 5V

(5)電源ケーブル抜け止め金具

電源ケーブルの抜け止め金具になります。

※簡易的な抜け止めになりますので、抜けない事を保障する物ではありません。

(6)アース端子

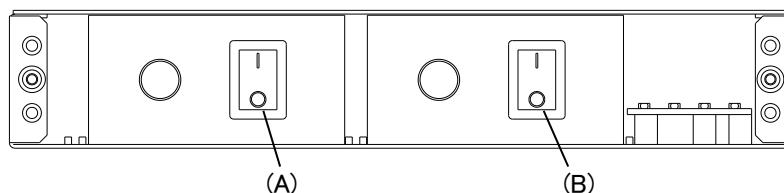
フレームGNDです。

4. 電源ユニット 交換・増設方法

・P-I ~ II「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

1. 電源ユニット 交換方法

電源ユニットに異常が生じた場合の対処方法です。当社から交換用の電源ユニット(2 台)が届くまでは、異常が生じた電源ユニットの電源スイッチを OFF にし筐体から引き抜いて下さい。1 台のユニットで長時間耐えられます。電源交換を行う際は、下記の方法に従い 2 台の電源ユニット交換を行ってください。



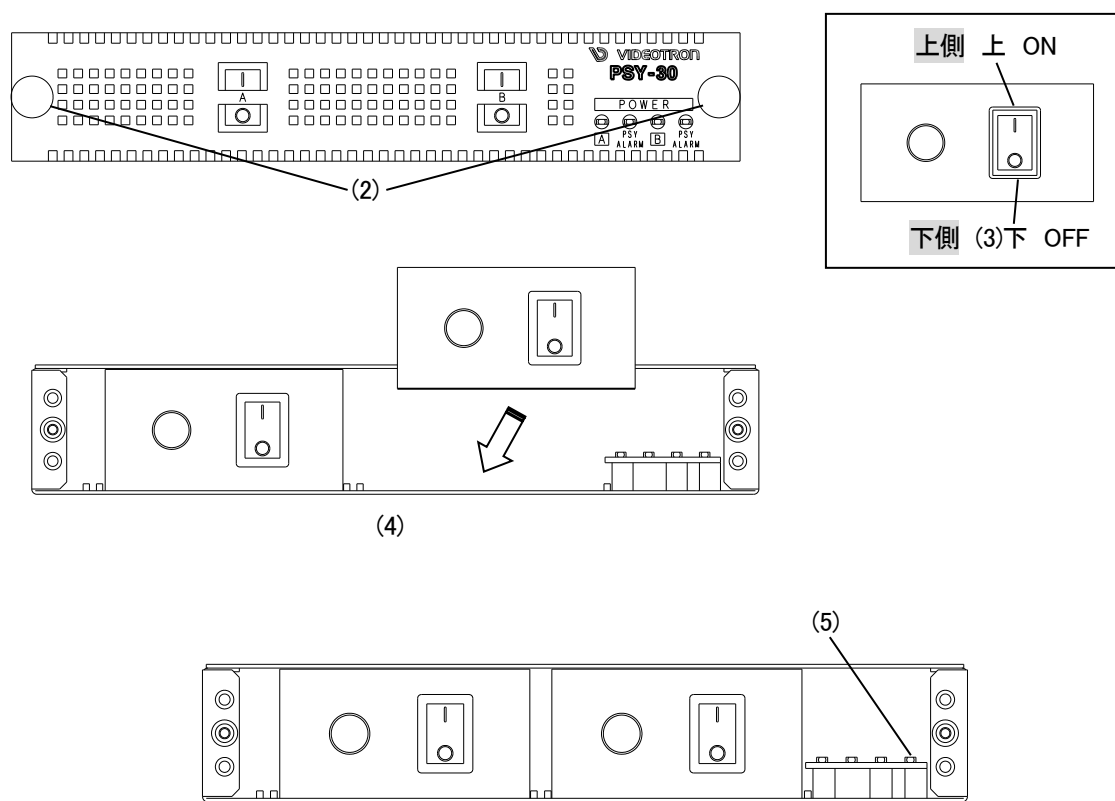
(1) 24 時間運転を行っている場合。

- 1) 故障した電源ユニットを A、もう一方の故障していない電源ユニットを B とします。
- 2) 前面パネルを取り外し、故障した電源ユニット A の電源スイッチを OFF にして電源ユニット A を引き抜きます。
- 3) 新しい電源ユニットのスイッチが OFF であることを確認し、筐体の実装して電源を ON にします。
- 4) もう一方の電源ユニット B の電源スイッチを OFF にし、電源ユニット B を引き抜きます。
- 5) 新しい電源ユニットのスイッチが OFF になっていることを確認して筐体の実装し電源を ON にします。
- 6) 実装されている電源の動作に問題ないことを確認し、前面パネルを取り付けます。

(2) 24 時間運転を行っていない場合。(必要に応じて電源をその都度入れてご使用されている場合。)

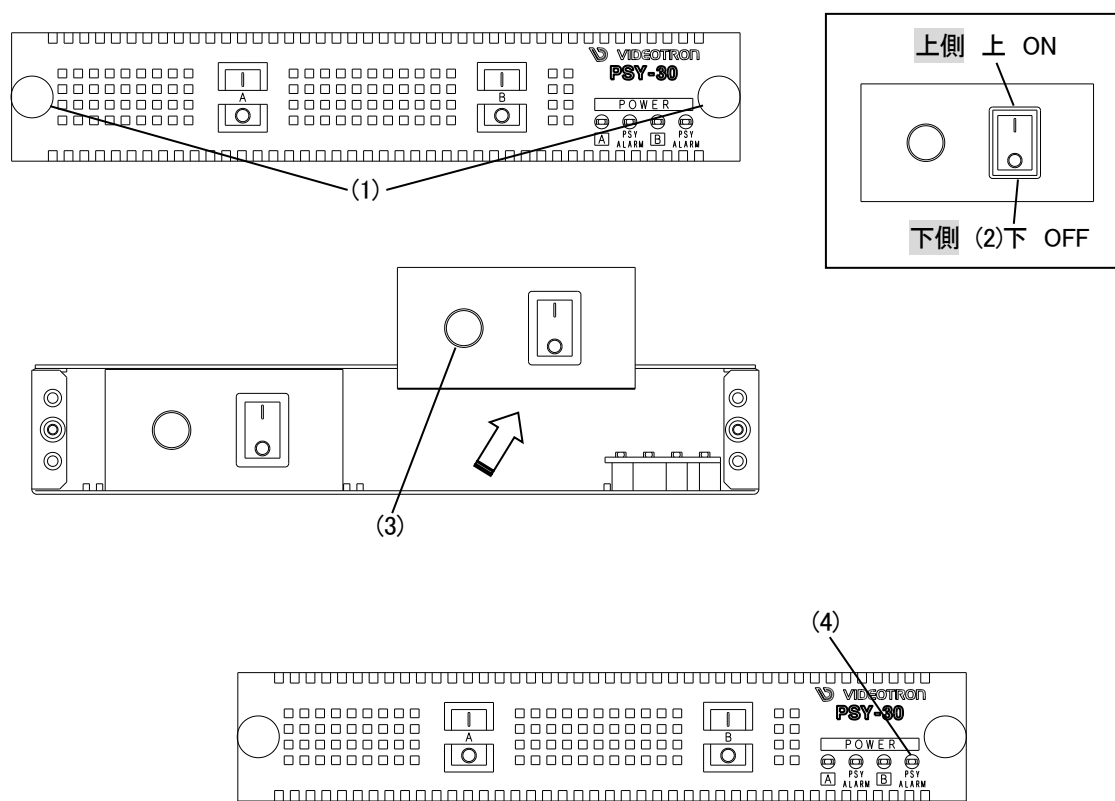
- 1) 前面パネルを取り外し、電源ユニット A、B の電源スイッチを 2 台とも OFF にして電源ユニット A、B を引き抜きます。
- 2) 新しい電源ユニット A、B のスイッチが 2 台とも OFF になっていることを確認してから筐体の実装し電源を ON にします。
- 3) 実装されている電源の動作に問題ないことを確認し、前面パネルを取り付けます。

2. 電源ユニット 増設方法



- (1) 筐体背面にある三端子電源コネクタへ、増設用電源ユニットに同梱されている AC ケーブルを追加実装します。
- (2) 前面パネル固定用ネジを緩め前面パネルを取り外します。
- (3) 電源スイッチが OFF になっている事を確認します。
- (4) 電源ユニットの上下方向を確認し電源ユニット用ガイドの間に垂直・水平に挿入します。
- (5) 電源スイッチを ON にし、前面パネルを取り付けます。
PSY-30 前面にある PSY ALARM LED が橙色点滅していなければ正常動作となります。

3. 電源ユニット 取り外し方法



(1)前面パネル固定用ネジを緩め前面パネルを取り外します。

(2)取り外す側の電源スイッチを OFF にします。

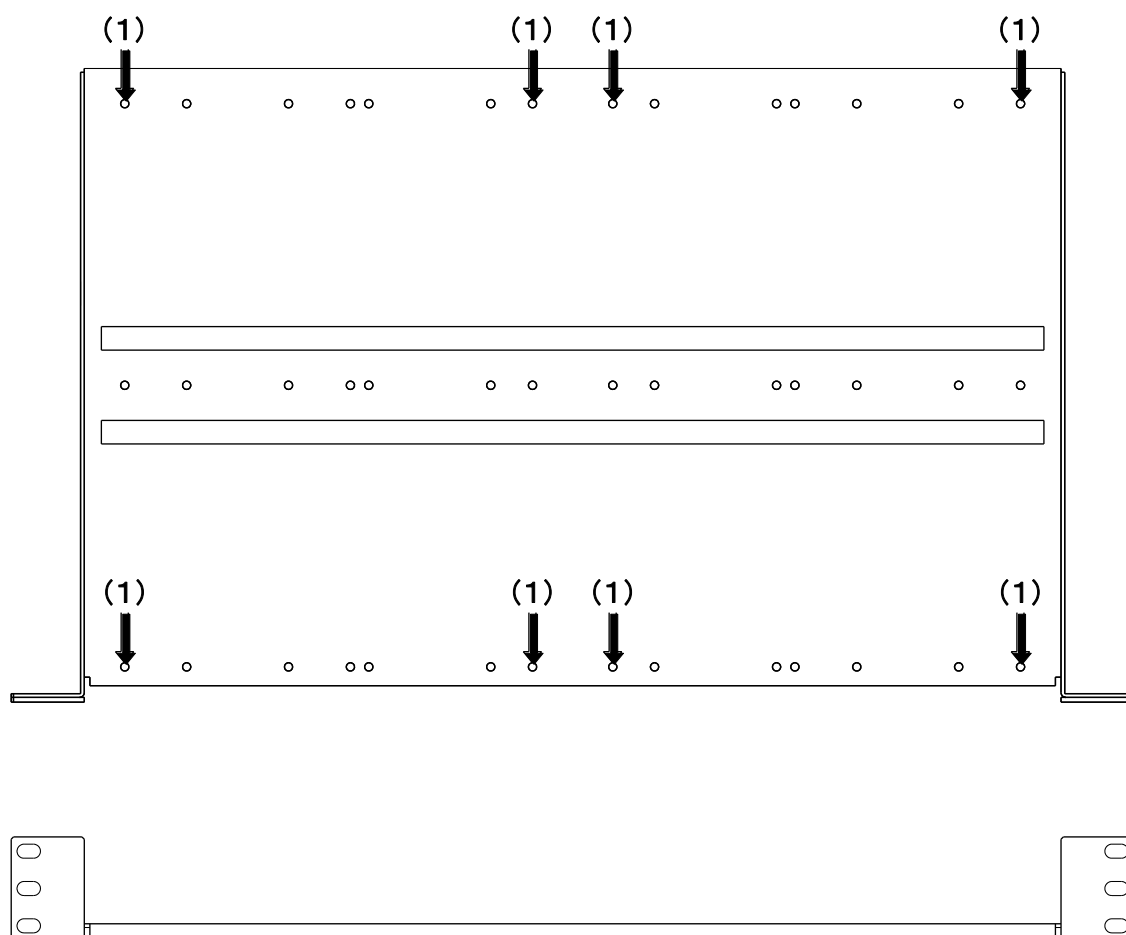
(3)挿抜用取手を使用し電源ユニットを引き抜きます。

(4)前面パネルを取り付けます。PSY-30 前面にある LED で、引き抜いた側の PSY ALARM LED が
橙色点滅していれば正常動作となります。

5. RM-25A ラックマウントキット組立て方法

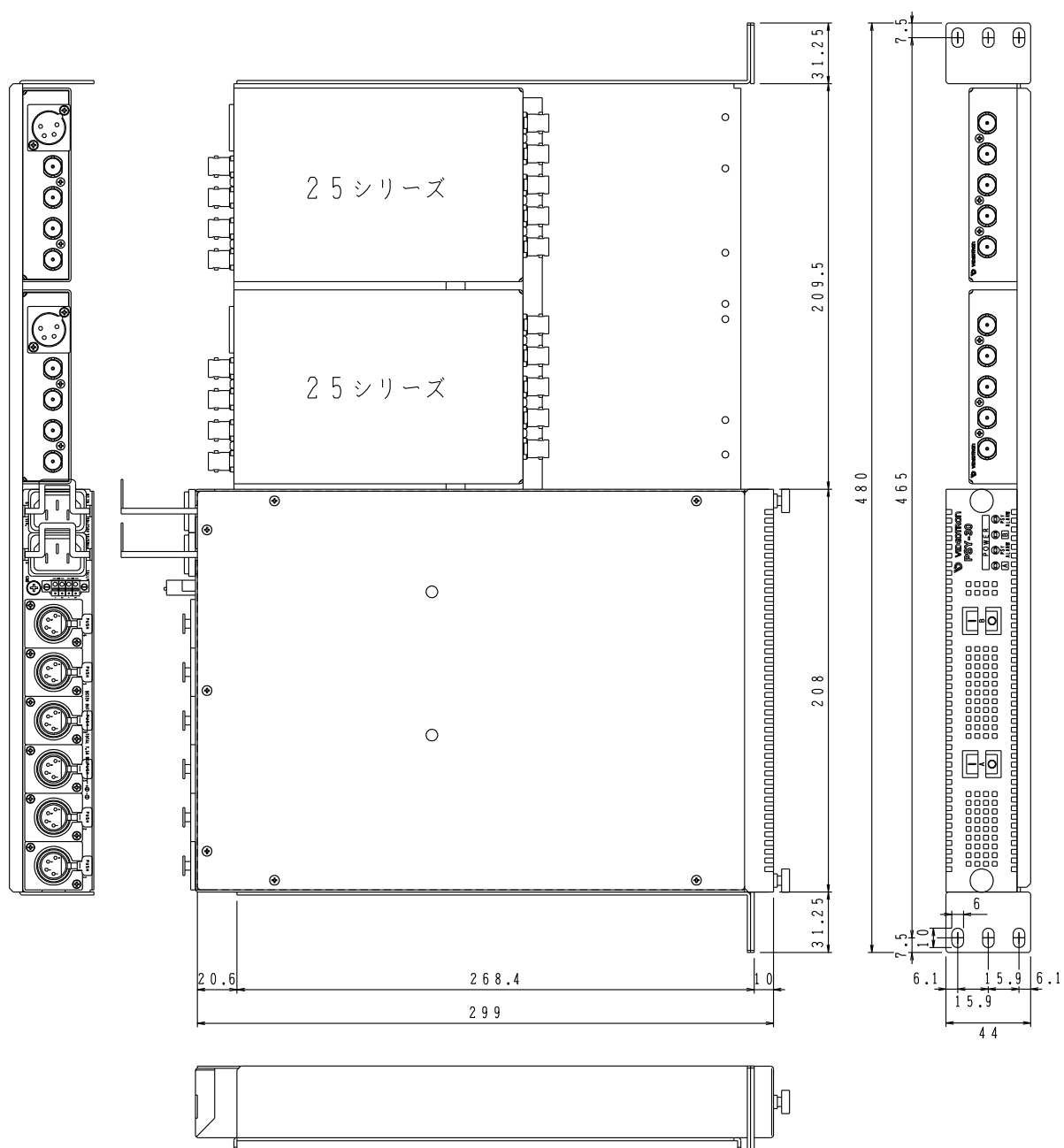
- ・P-I ~ II「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。
- ・オプションのご購入については当社営業部までご連絡ください

1. PSY-30 取り付け位置



- (1) PSY-30 底面のゴム足を取り外します。
- (2) ゴム足取付け穴を使用し、ラックマウント裏面より付属ネジ(M3x6 バインド)にて確実に締め付けてください。

2. RM-25A ラックマウントキット組立て完成イメージ図



6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現 象 POWER LED が点灯しない！

原 因

・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？

→接続が正しくて点灯しない場合は故障が考えられます。当社までご連絡ください。

・正面の PSY LED は点灯していませんか？

→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。

筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社までご連絡ください。

現 象 PSY ALARM LED が点灯した！

原 因

・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？

→接続が正しくて点灯しない場合は故障が考えられます。当社までご連絡ください。

→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。

筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社までご連絡ください。

現 象 PSY ALARM LED が消灯しない！

原 因

・筐体への供給電源は正常ですか？

→筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社までご連絡ください。

現 象 電源ユニットが取り外せない！電源ユニットが実装出来ない！

原 因

・電源ユニット、もしくは筐体のフレームなどがゆがんでいませんか？

→筐体破損が原因と考えられます。当社までご連絡ください。

現 象 PSY-30 へ接続した筐体が起動しない！

原 因

- ・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
- ・接続用ケーブルは確実に接続されていますか？
- ・接続したケーブルの配線は間違っていないか？（ 1 ピン:－ 4 ピン:＋）
- ・接続した筐体の動作電圧は PSY-30 の電源出力範囲内になっていますか？
- ・接続した筐体は正常動作品ですか？

→配線や接続が正しくて起動しない場合は故障が考えられます。当社までご連絡ください。

→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。

筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社までご連絡ください。

お問い合わせは、当社サポートセンターまでご連絡ください。

7. 仕様

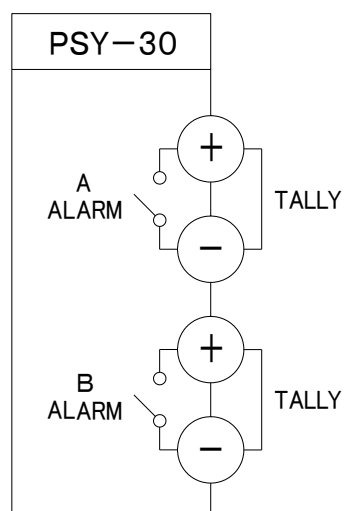
構成

筐体	PSY-30
PSY-30 電源二重化オプション	PSY-30-01 標準 1 台 筐体へ実装済み

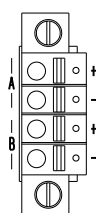
定格

最大消費電力	100VA
電源出力	90VA(12V 7.5A) XLR-4(f) (1:-、4:+)
外部 I/F	
・ TALLY	電源アラーム端子 4 極(A 電源用 2 極 B 電源用 2 極) 端子の絶対最大定格 AC・DC 60V 200mA 適合ケーブル UL1007 AWG28-16 ※アラーム接点は電源異常、電源停止のいずれかで異常発生側電源の端子(A 電源の ＋端子/B電源の＋端子)がクローズします。
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(但し、結露無き事)
電源電圧	AC90～250V 50/60Hz
外形寸法	208W×36.9H×300D(突起物含まず)
質量	3kg

TALLY 仕様



TALLY ピン配列



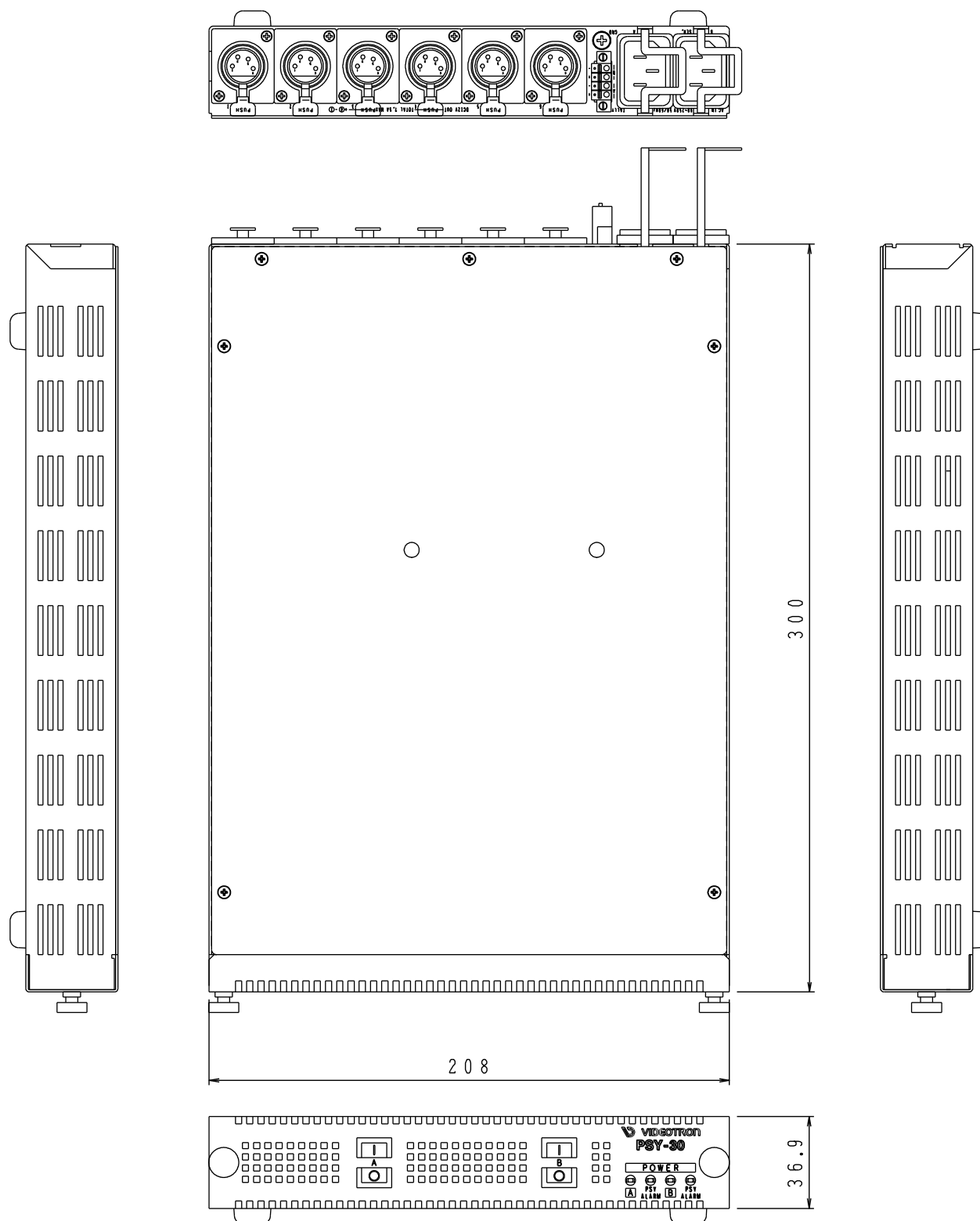
適合ケーブル UL1007 AWG28-16

筐体背面側

アラーム接点は電源異常※1、電源停止のいずれかで異常発生側電源の端子(A電源の＋端子/B電源の＋端子)がクローズします。
端子の絶対最大定格AC・DC 60V 200mAです。
※1 電源が規定電圧(11～10.6V)を下回る時。

外形寸法図

・PSY-30



※注 外観及び仕様は変更することがあります。

無断転写禁止



- ・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- ・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL **042-666-6311**

大阪営業所 TEL **06-6195-8741**

ビデオトロン株式会社 E-Mail: sales@videotron.co.jp

本 社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト

<https://www.videotron.co.jp>

101498R04

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。